

# 蒲生干潟の地形調査106 2025年3月18日



Fig.1 GPS簡易測量結果  
(地理院地図を加工して作成)



Fig.2 潟湖全体の様子 (北側からドローン撮影)



Fig.3 七北田川河口 (西側からドローン撮影)



Fig.4 潟湖南東部の様子 (南側からドローン撮影)



Fig.5 再びつながった潟湖南東部



Fig.6 導流堤上の流木

調査日 2025年3月18日 (火) 9:45~11:00 ※満潮時刻5:16 (潮位136cm) 干潮時刻11:52 (潮位20cm)

Fig.1は、GPS簡易測量による3月18日の汀線である。潟湖全体の水量は前回調査より多く、分断していた3ヶ所はすべて再びつながっていた。前回調査で見られなかった最北部の潟湖の水も見られた。七北田川河口では、右岸砂州が河道に大きく張り出し、左岸の砂の堆積は見られなかった。導流堤上の流木が見られた。この流木は、昨年10月の調査から七北田川右岸砂州上に見られたものに類似しており、前回調査までは右岸砂州で見られたことから、3月中に導流堤まで流されたと考えられる。

(門脇 駿)